

よつぼし



未来に輝け 横央っ子の 四つ星（思いやり星，学び星，健康星，働き星）

横川を心から好きに…

横川地区には、「花いっぱいコンクール」や「子どもフェスタ」，「地区体育祭」，「コスモス祭り」，「ふれあい祭り」など，子どもたちが参加できる行事が数多くあります。行事に参加するたびに，「地域で子どもを育てる」ことが根付いている地域であると感じています。

また，PTA活動や地域協議会活動も自主的に，そして活発に行われています。その活動の中心には常に子どもたちが置かれています。

これらの状況は，兵庫県豊岡市の教育者である東井義雄（とういよしお）を思い出させます。（お時間のある方は，お読みください。）

村を育てる学力

進学指導・就職指導によって，たしかに村の子どもの学力は伸びるだろう。農村人口の都市への移行も必然的な動向であろう。しかし，村の子どもが，村には見切りをつけて，都市の空に希望を描いて学ぶ，というのでは，あまりにみじめすぎると思うのだ。そういう学力も成り立つのであろうが，それによって育てられる学力は，出発点からして「村を捨てる学力」になってしまうのではないか。私は，子どもたちを全部村に引きとめておくべきなどと考えているのではない。過半が都市にでる宿命にあるなら，それでもいいと思う。ただ私は，何とかして，**学習の基盤に，この国土や社会に対する「愛」を据え付けておきたい**と思うのだ。「村を捨てる学力」ではなく「村を育てる学力」を育てたいのだ。村を見捨てず，愛し，育て得るような，主体性を持った学力なら，進学や就職だって乗り越えられるだろうし，たとえ失敗したところで，一生をだいなしにするような生き方はしないだろうし，村におれば村で，町におれば町で，その生まれがいを発揮してくれるに違いない，と思うのだ。

※東井義雄著「村を育てる学力」より

子どもたちには学校を，そしてこの地域を心から好きになってほしいと思います。横川地区は子どもたちを地域で見守り，育てています。理想的な地域だからこそ，子どもたちの「村を育てる学力」を育んでいきたいと思います。

【お知らせ(お願い)】

- お子さんが学校に忘れ物をして，基本的には取りに来ないようお願いします。

施錠箇所が開いていたことや，会議や打合せが中断されることがその理由になります。忘れ物を未然に防ぐため，学校としても帰りの会等の機会に，忘れ物をしないよう全体指導をしていきます。保護者の皆さまのご理解，ご協力をお願いいたします。

おにぎりの日（10/29）

おにぎりの日を実施しました。給食とは多少違う雰囲気があり、笑顔で食べている子どもたちがいつも以上に多いように感じました。

次は12月3日（水）に「お弁当の日」を予定しています。一緒にお買い物に行く、お弁当箱に詰める、高学年児童は1品作るなど、子どもたちに食に関する経験をしてほしいと思っています。



宇都宮市陸上競技大会（10/28）

5・6年生の代表児童が、カンセキスタジアムで行われた陸上大会に参加しました。練習から本番まで、関係した子どもたちはよく頑張ったと思います。

運動会（11/5）

秋晴れの中、予定通り実施することができました。子どもたちの一生懸命がひしひしと伝わってくる、最高の運動会だったと思います。多くの保護者の皆さま、ご参観いただき誠にありがとうございました。

